

奈良教育大学生協 受泊班の取り組み



[新学期]

取り組み概要

日時：2月24日・3月11日（下見案内・相談会）
 2月25日・3月12日（バス停誘導）

場所：奈良教育大学内・近鉄奈良駅・JR奈良駅付近
 参加者数や組合員の反応：前期入試は計24名、後期入試は計28名の参加があった。

背景や概要：学生委員会内の受験相談宿泊班（受泊班）による、受験生の不安を解消するための取り組み。入試前日に試験会場の下見案内や個別相談会、当日に大学の最寄り駅付近でバス停誘導を行った。

未来の組合員を全力サポート！

POINT.1

思いのこもった応援グッズ



試験会場下見案内や個別相談会に参加した受験生に、学生委員全員から募って作った「合格祈願メッセージ」や、受験時のエピソードを紹介した「先輩たちの受験前日」、大学付近の情報を詰め込んだ手作りの「周辺マップ」を配布しました。毎年恒例の本企画において、どれもいつも1から作り直している手の込んだものです。「受験生の不安を最大限取り除けるように」という学生委員会の温かい思いを感じました。

POINT.2

スムーズに入試に臨めるように

奈良教育大学へ行くためには、近鉄奈良駅もしくはJR奈良駅に到着後、バスに乗る必要があります。そこでそれぞれの駅付近に学生委員が出向き、受験生が迷わないように、奈良教育大学行きのバス停まで誘導しました。誘導する際に持つ案内板の裏に電車の時刻表を貼っておき、タイミング良く受験生を助けられるように工夫していました。先輩たちのおかげで、受験生はスムーズに入試に臨めたのではないのでしょうか。



POINT.3

大学との連携



奈良教育大学の公式WEBサイトにおいて、下見案内・相談会開催の周知と共に、「合格祈願メッセージ」などのコンテンツが全て掲載されました。学生委員会のSNSだけでなく、受験生が度々チェックしているであろう大学のサイトでも宣伝を行ったことで、より多くの受験生に学生委員会からのエールを届けることができました。実際に大学のサイトを見て、本企画に参加したと言っていた受験生もいたそうです。